

今回はベトナム人の日常生活の習慣を紹介します。

1. 朝が早い

日本では朝から開いている飲食店が少なく、ほとんどの店は午前11時頃や夕方から営業します。日本人は朝食を家で食べるかコンビニのおにぎりやパンで済ませる人が多いそうです。ベトナムの市場やお店はまだ外が暗いうちから開き、会社や学校は7時半から始まりますので、大人も子どもも朝早起きしなければなりません。そして、朝5時半ぐらいに公園で自転車に乗ったり、体操をしたりするおじいさん、おばあさんをよく見かけます。そんな早朝から活動するベトナム人には朝から外食する習慣があります。道路に面する朝食のお店が沢山あって、料理も豊かです。



2. 昼寝

朝は早く起きるため、1時間半～2時間の昼休みがあって、ランチの後には昼寝をする人が多いです。農家さんなら一旦家に帰って昼食を取って、昼寝をします。オフィスの人なら机の上か、机の下に畳を敷いて昼寝をします。特に昼間の時間帯になると交通量も少なくなって、お店を閉めるところもあります。

3. 初めて会う人に年齢を聞く

理由はベトナム語の二人称は相手が男性か女性か、そして年齢がどのくらい離れているのかによって相手の呼び方が変わるからです。また、日本語では主語を略しても意味が変わらないですが、ベトナムでは目上の人と会話する時は主語がないと誰のことを言っているか誰に言っているかわからなくなって、無礼だとされます。

4. 毎日家族に電話する

ベトナム人は家族を大切にするという文化があります。家族と離れて住んでいる人は、親や子どものことを心配しますので、ほぼ毎日電話します。または恋人同士でも毎日電話をするのが当たりまえです。日本では「便りが無いのは元気な証拠」ということわざがあって、あまり家族に連絡しない人が多いそうですね。

5. 腹を露出する男性

暑い夏の日、お腹を露出するか上半身裸で街や公園を歩く男性をよく見かけます。また夕方になると体操やスポーツで汗をかけた後は人の目を気にしないで上衣を脱ぐ人もいます。ベトナムではその姿を見て恥ずかしく感じる女性もいますが、普通だと思う人がほとんどです。日本では非常識なことで、わいせつ行為とされて、捕まえられるかもしれません。